



# ファクトシート//モビリティおよび航空宇宙



invest  
in  
bavaria

## 多岐にわたるビジネスの可能性

- バイエルン州は、数十年来、重要なモビリティセクターの主導的な場となっています。例えば：
  - 自動車産業**：製造業の全売上高の約30%を獲得しているのは、自動車産業です。これらには、アウディやBMWなどのグローバルブランドだけでなく、ブローゼ (Brose)、ドゥレクスルマイヤー・グループ (Dräxlmaier Group)、ペバスト (Webasto) などの主要なOEMも含まれます。
  - 航空宇宙**：110億ユーロ以上の売上高を、毎年、製造業に携わる約450社の企業があげています。これにより、バイエルン州は航空宇宙産業のバリューチェーン全体をカバーする、世界でも数少ない地域の一つになっています。
  - 鉄道テクノロジー**：年間約120億ユーロの売上高によって、ドイツの鉄道産業は、世界市場で大きなシェアを占めています。最も重要な企業のいくつかは、バイエルン州に移転してきました。
  - ロジスティクス**：バイエルン州は西欧と東欧の間に位置しているため、ロジスティクスのイノベーションの中心地になっています。138,000kmに及ぶ交通輸送ネットワークを通じて、数多くの拠点を結びつけています - 道路で、鉄道で、水運で、空路で。
- バイエルン州の多岐にわたるモビリティの地域事情は、産業横断的なイノベーションの駆動力になっています。このために、事実、自由国家バイエルン州は、将来のモビリティソリューションのためのヨーロッパ有数の「テストラボ」にまで発展し、州境外からも注目されています - こうした恩恵に浴しているのは、ニュルンベルクの [Zentrum Wasserstoff.Bayern](#)、インゴルシュタットの [Urban Air Mobility Initiative](#)、[Digitalen Testfeld Autobahn](#) など、数多くの高水準のプロジェクトがあるためです。その結果、[Lilium](#) や [TUMHyperloop](#) などの破壊的なスタートアップがここに定着しておりますし、同様に、アウディ、BMW、ボルシェ、フォード、フォルクスワーゲン、ダイムラーのジョイントベンチャーである、汎ヨーロッパ最初の高電力充電グリッドである [IONITY](#) も、ここに本拠を置いています。

## 能力のある人へのアプローチ

- バイエルン州には、世界レベルの30の大学と専門大学があり、全体でおよそ400,000名の学生が在籍しています - その多くがモビリティ関連を専攻しています。
- 一連の学習課程 (Studiengänge) は、未来志向のモビリティソリューションを扱い、関連分野のコンピテンシーを習得します。例えば：
  - ランズフート応用科学大学：[自動車情報学](#)の学士号
  - バイオテクノロジーと持続可能性の [TUMシュトラウベック・キャンパス](#)。特に焦点をあてているのが、クリーンテックや合成燃料分野の研究です。
  - ミュンヘン工科大学の [航空宇宙測地学](#) 学部は、ミュンヘン都市圏の「Space Valley」の中核になるというビジョンによって2018年に設立されました。
- さらに、バイエルン州では、デジタル化やクリーンテクノロジー (Clean Tech) に特化した数多くの企業内研修プログラム (職業訓練や二元制学習課程) が設置されています。

## 効果的なネットワーク

- 2006年以来、州政府の出資する「Cluster Offensive Bavaria」が、分野および産業横断的なイノベーションを推進するネットワークの構築を推進しています。[自動車](#)、[航空宇宙](#) および [鉄道](#) の分野で有名な3つのクラスターは、今日、国際志向のネットワークとイノベーションのための強力なプラットフォームとして貢献しています。E-Mobility Cluster Regensburgは、インフラストラクチャを含むe-モビリティのテクノロジーに焦点を絞っています。[Logistik Initiative Bayern](#) は、ロジスティクス業界の中心的なイノベーションプラットフォームとして貢献しています。
- さらに、デジタルテクノロジーの潜在能力を活用する新しいプラットフォームが創出されました。2つの例：[デジタル・ハブ・モビリティ](#) は、全国的なハブイニシアチブの一部です。このデジタル・ハブ・モビリティが焦点をあてているのは、ビッグデータ、e-モビリティ、自動運転の分野におけるプロジェクトのネットワークとバンドリングです。[MCube](#) は、大都市圏でのモビリティのための持続可能なソリューションを開発しています。
- これを念頭に置いて、大企業が、若い起業家やデジタル事業者とともに、分野横断的なイノベーションのためのスタートアッププログラムを立ち上げました。これには、たとえば、[BMW Startup Garage](#)、Continental の [co-pace](#)、[ルノーのUNLIMITED UX](#)、[フォルクスワーゲン・データラボ](#) または [MAN Impact Accelerator](#) が属しています。
- 2つのスタートアップセンターは、特に航空宇宙産業に焦点を絞っています：[ESABIC Bavaria](#) は宇宙テクノロジーのビジネスインキュベーターであり、[brigkAIR](#) は3次元モビリティと無人航空機を専門としています。

## グローバルな視点

- 2021年から、ミュンヘンは、[IAAモビリティ](#) のホストとして、全世界から見本市に訪れる皆さんをお待ちしています。IAAモビリティは、39カ国 (2019年) から出展者があり、この分野における世界で最も重要な専門的見本市の1つです。あなたが移転することは、モビリティの未来のための場であるミュンヘンの国際的な重要性とともに、この都市のグローバルな視点を映し出します。
- ビッグプレイヤー - つまり、アウディ、シーメンス、BMW、エアバスまたはMAN - だけでなく、バイエルン州の隠れたチャンピオンもイノベティブです。たとえば、1705年に設立されたメミンゲンの [ゴールドホッフアー社](#) は、大型輸送および特殊輸送用の車両分野における世界的リーダーです。ゴールドホッフアーは、その生産量の80%以上を輸出しています。
- 革新的なモビリティ企業が、この地域に惹きつけられています：例えば、サンフランシスコに拠点を置くオンデマンド輸送会社である [lyft](#) は、最近、ヨーロッパ初のオフィスミュンヘンに開設しました。中国の電気自動車のスタートアップである [NIO](#) は、ここにグローバルデザインオフィスを設置しました。